

システム開発センター開設へ

新晃工業が長崎県長崎市に 10月11日、立地協定に調印

新晃工業（本社・大阪市北区、社長・末永聡氏）は、システム開発の新拠点として、長崎県長崎市に「（仮称）SINKOシステム開発センター」長崎ベ



調印式の様子

「ス」を開設する。十月十一日には、長崎県庁において、大石賢吾長崎県知事、鈴木史朗長崎市長、同社末永聡社長、青田徳治副社長が出席し、長崎県・長崎市との立地協定調印式が執り行われた。同社では、業務のデジタル化により労働集約型の生

産体制からの脱却を図り、次世代型個別受注生産方式への進化を順次進めている。業務のデジタル化を行うシステム開発では、首都圏・近畿圏などでIT人材不足が今後も継続するものと予想されることから、長崎県の優秀な人材を活用して「ニアショア開発」を行い、デジタル化による進化を加速させていく。

新拠点はその目的のため開設されるもの。所在地は長崎駅周辺を検討中で、事業開始は二〇二六年四月の予定。開設後五年間で十七名の雇用を計画している。